

プロジェクト名	日本近代文学の国際的受容状況に関する翻訳テキストを通じた調査研究		
プロジェクト期間	平成 23 年度		
申請代表者 (所属講座等)	久保田裕子 (国語教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	
取組方法および 取組実績の概要	<p>① プロジェクトの取組方法</p> <p>当プロジェクトは、平成 23 年度科学研究費補助金（基盤研究（c））「日本文学に描かれたタイ国文化表象の分析研究」における研究テーマを分化・発展させ、日本近代文学の国際的受容状況というテーマに特定して研究を遂行した。科研における研究テーマの一部を分化させて論じることで本プロジェクトを遂行し、研究全体の深化・拡大をはかることを目指した。</p> <p>② プロジェクトの取組実績の概要</p> <p>科研の研究は主にタイ国と日本文学との関係进行分析したものであるが、本プロジェクトを通し、日本近代文学の国際的受容という視点へと広げることが可能になった。科研の研究領域と関連した別テーマとを相互関連させることによって、研究の発展性と継続性を目指した。学長裁量経費を通じた研究において、個人研究による研究テーマを分割・統合させる試みが可能となり、新たな研究スタイルを模索する機会を与えて頂いた。</p> <p>③ プロジェクトと科学研究費補助金との関連性</p> <p>科研費の研究テーマから分化・発展させた研究を本プロジェクトで遂行し、両者を統合して次の科研費申請へつなげることを目標として研究を進めた。</p>		
研究成果の概要	<p>① 三島由紀夫を中心とする日本近代文学の受容状況に関する調査。</p> <p>日本文学のテキストが海外においてどのように受容されたかを知るために、三島を中心として、各国・各言語における翻訳テキストを調査・収集した。</p> <p>② タイを中心とした東南アジア地域における日本近代文学の翻訳を通じた受容状況の調査分析。翻訳テキストがどのように流布・発展したかという経緯をたどることによって、地域によって異なる日本文学の受容状況について考察した。</p> <p>③ 収集した①の資料に②の分析結果を加え、日本国内・国外において成果報告を行った。平成 23 年度は国際交流基金の visiting professor program（客員教授・直接派遣）により、タイ国チュラーロンコーン大学大学院において集中講義を行い、その際にチェンマイ大学・国際交流基金との共催で、日本文化研究に関するワークショップを実施した。また社会貢献事業として、海外から講師を招聘し、福岡市文学館において市民に向けた講演を行った。福岡教育大学においては、国語教育講座・国際共生教育講座との共催事業としてワークショップを実施し、国内・国外から 2 名の講師を招き、学生との討論会を行った。</p>		

外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法について

外部資金獲得 申請（予定）	科学研究費補助金	研究成果の 公表方法（予定）	論文発表，学会発表
------------------	----------	-------------------	-----------